



学校だより

# 温 寧 の 丘

北海道小平高等養護学校

令和 5 年 5 月 19 日

第 1 号(通算106号)

## 夢の実現に向けて

北海道小平高等養護学校長 齋 藤 利 文

新学期が始まり1か月が過ぎ、生徒たちも新しい環境に慣れ、落ち着いて学習に取り組んでいます。4月11日には「令和5年度 第28回入学式」が行われ、今年度は13名の新入生を迎え全校生徒30名の学校、寄宿舎生活が始まりました。

小平高等養護学校は、『「夢 挑戦 未来」夢に向かって挑戦し 未来を 切り拓く人を育てる』ことを学校教育目標としています。入学式の式辞でも述べましたが、学校教育目標の夢の実現において、挑戦してほしい3つのことがあります。この3つの挑戦は、急速に社会が変化し、誰もが経験のない予測困難な時代を生きる子どもたちが乗り越えるための必要な資質・能力となります。

一つ目は、「好奇心」です。「好奇心」とは、物事に対して興味や、関心を持ち、もっと深く知りたい、深く調べたいという要求や気持ちです。その要求や気持ちを積極的に行動に移すことは、**生き抜く力**につながります。二つ目は、「持続力」です。「持続力」とは、失敗しても諦めずに続けていくことです。難しいことに打ち当たった時に、これまでの経験したことを基にアイデアを考えたり、情報を集めて課題を解決したり、周囲の人に力をかりるなどして乗り越えることは**生きる力**につながります。三つ目は、「コミュニケーション力」です。他の人から情報を聞くことや、自分が伝えることは、知識を深めたり、思考を深めたり、自分の成長に繋がります。また、相手の考えを互いに理解し合うことで人との関係もよりよくなります。「コミュニケーション力」を高めることは、**たくましく生きる力**につながります。

冒頭でも記述しましたが、日本は、少子高齢化や生産人口の減少、人口知能の進化等、急速に社会が変化し、誰もが経験のない予測困難な時代をおかえます。そうした時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育てるためには、学校としてもより実行性のある取り組みや連携が必要で、確実な成果を上げることが求められています。こうした時代の背景を踏まえ、本校では昨年度よりコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入しています。

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さまがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働で子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。根底にはよりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念＝「社会に開かれた教育課程」があります。今後、関係の皆様と熟議を重ね、できるところからその実現にむけ歩みを進めていけたらと考えております。

保護者の皆さま方におかれましても、我々教職員との信頼関係と相互理解を基に、子どもたちを温かく見守り、一人の大人として自立していけるよう皆さまの力を発揮していただけたら幸いです。今後も本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。